



ロータリー：
変化をもたらす

Rotary International District 2800 2017-2018

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER vol.8

地区目標 美しい心、ロータリアンの矜持
～修養、友情、情熱、奉仕、平和、感動～

ガバナー一月信

第8号

CONTENTS

- ガバナーメッセージ
- 社会奉仕コーナー
- ロータリー財団コーナー
- 初めての地区補助金事業
ロータリー情報のコーナー
- ガバナー公式訪問
- 米山奨学・学友コーナー
- 米山奨学生レター
- 青少年交換学生月次報告
- ローターアクトのコーナー
インターアクトのコーナー
- My ROTARYの使い方
- RI会長賞の進捗状況
- 出席率
- 新入会員紹介
表彰関係
- 2月のスケジュール



2

寒鯨まつりの馬ソリ (チェリーランドさがえ)



国際ロータリー第2800地区
2017▶2018年度

◇ガバナー／鈴木一作
◇R.I.会長／イアン H.S. ライズリー
◇R.I.理事／斎藤直美、石黒慶一



親愛なる会長・幹事・ロータリアンの皆様へ

2017-18年度 国際ロータリー第2800地区 ガバナー 鈴木 一作

RIテーマ **ロータリー：変化をもたらす (ROTARY: MAKING A DIFFERENCE)**

地区目標 **美しい心、ロータリアンの矜持 ~修養、友情、情熱、奉仕、平和、感動~**

2月は、「平和と紛争予防／紛争解決月間」です。さらに、世界理解と平和週間（2月23日（ロータリー創立日）～3月1日）もあります。言うまでもなく、「平和」はロータリーにとっても、また人類にとっても、最重要のテーマです。そして、地区目標のサブテーマの一つでもあります。

◆人類は争いの歴史

人類は、“縄張り（支配が及ぶ範囲）”を奪い合ったり、民族や宗教、政治体制などの違いで衝突したりなど、まさに古代から争いの歴史でした。言い換えれば、自分たちにとって都合がいい「利権と秩序」こそが正義であり、その「利権と秩序」を他者に求めるからこそ、大小様々な争いが起きたのです。その場合、被害者は常にその土地の住民でした。それは、古代から現代に至るまで不変です。実際、今でも紛争と暴力によって年に数百万人が家を失い、故郷を追われています。その累計は6,500万人とも言われています。しかも、紛争で命を落とす人の90%が罪なき一般住民であり、その半分为子供です。

◆平和の中身＝相互理解の中身

「平和」という言葉には、安心・安全・安定、そして明るく楽しく平穏であるというイメージがあります。しかし、現実的には、そんなバラ色の状況を作り出すことは不可能でしょう。日本といえども、そうしたイメージからほど遠い問題が山積しています。それでも日本は十分に平和だと、大部分の人は思っています。そういう意味では、世界平和にしても、国や地域の平和にしても、結局は「互いの多様性と独自性を尊重し合い、富（土地や資源、利益など）や権利の分配に折り合いをつけながら、立場や役割、規則などの全体秩序を構築して“共存共栄”をはかること＝「相互理解」に他なりません。ところが、その“共存共栄”は、当事者間で同等・平等になるはずがありません。したがって、当然そこには妥協と我慢、時には愛も必要です。そんな「相互理解」の典型例を歴史に求めれば、西郷隆盛と勝海舟、山岡鉄舟らによる江戸無血開城であり、ロータリーで言うなら、決議23-34に至る過程を挙げる人もいるかも知れません。いずれも、妥協と我慢、愛を伴う「相互理解」の賜でした。

◆平和への地道な取り組み

ロータリーは様々な奉仕プロジェクトで、紛争の根底にある諸問題（貧困、不平等、民族間の緊張、教育機会の欠如、資源の不均衡など）の解決に向けて地道に取り組んでいます。しかし、その対象が紛争地域、またはその可能性のある地域だけに、これらの諸問題に日本のロータリーが直接取り組むことは多くないようです。それだけに、考えて欲しいのは異文化交流を通じて「相互理解」の心を育て、紛争解決のスキルを備えた人材の育成、すなわち平和フェロシップへの支援です。

◆平和フェロシップとは？

平和フェロシップは、世界平和と紛争予防の担い手を育てるために、ロータリー平和センター提携大学で学ぶ費用（入学金、授業料、食事や宿泊などの滞在費、往復航空券など）を提供する制度です。現在、ロータリーは日本の国際基督教大学をはじめ、世界で7つの大学と提携しています。既に1,000人以上の人材を輩出し、その多くは国連や世界銀行などの国際機関、国際平和関連のNGOなどで活躍しながら、世界平和を目指しているのです。

◆我々にできる平和フェロシップ支援

我々ロータリアンの支援としては、恒久基金（用途指定：ロータリー平和センター）、ロータリー平和センター冠名基金または冠名指定寄付など、ロータリー財団を通じた寄付が可能です。また、地区財団活動資金（DDF）のグローバル補助金か

らロータリー平和センターに寄贈することも可能で、2800地区としても検討中です。さらに、クラブと地区は、ロータリー平和フェローシップの資格を有する候補者を推薦できます。資格にはロータリアンの親族以外で、英語が堪能であり、関連分野におけるフルタイムの職歴またはボランティア歴などが必要ですが、これまで2800地区からは一人も候補者を出していません。平和を希求する前途有為な青年の支援を、ぜひご検討ください（詳細はMy ROTARY参照）。

◆青少年交換学生や米山奨学生への期待

特に、その平和フェローシップの候補者として、2800地区の青少年交換学生や米山奨学生を経験した若者が手を挙げてくれば、「ロータリーとして懸命に支援した甲斐があった、米山梅吉翁の切なる想いも報われる」ということになり、こんなに嬉しいことはありません。彼らと交流する機会が多いロータリアンは、ぜひ心にとめてください。彼らをロータリー精神に満ちた志ある人材に育て、世界平和のために大いに貢献・活躍して欲しいというのは、私だけではなく、全国34地区ガバナーの共通した想いでもあるのです。

My ROTARY登録とRI会長賞について

ガバナー 鈴木 一作

1. クラブ会員は、My ROTARYに登録しましょう

クラブ会長は、会員全員がMy ROTARYへ登録するように勤めてください。本誌14~16ページを参考にすれば、登録は容易です。登録した方は、下記3の「RI会長賞の達成項目進捗状況」の確認をはじめ、My ROTARYを十分に活用できるようになります。

2. クラブリーダーは、ロータリークラブセントラル等の入力、編集をしましょう

ロータリークラブセントラルの入力、編集は、RI会長賞を受賞するために必須です。具体的には、ロータリークラブセントラルの「目標設定・確認センター」に記入していきますが、必要に応じて「奉仕活動」や「ロータリーショーケース」にも記入が必要です（月信7月号6~7ページ参照）。

現在、必須項目2「奉仕プロジェクトの時間と金額」の記載がないクラブが多いです。また、目標設定数が10未満のままのクラブがあります。確認の上、早急に追加してください。また、進捗状況の適宜追記もお願いします（入力・編集の仕方は、月信11月号3ページ「ガバナーの想い」参照）。

3. RI会長賞の達成項目進捗状況を、クラブ会員の全員が確認しましょう

My ROTARYを開いて、上段にある「運営する」→「クラブと地区の運営の『各種レポート』」→「賞・表彰の『ロータリークラブのレポートを見る』」→「2017-18年度会長賞ダッシュボード」の順にクリックしていけば、登録者なら誰でも自クラブにおけるRI会長賞の達成項目進捗状況を確認できます。ロータリークラブセントラルの入力をはじめ、人頭分担金の支払い、会員数なども自動的に反映されているはずですが、達成したはずの項目が未達成になっていけば、ロータリークラブセントラルの「目標設定・確認センター」などの編集が正しくない場合です。クラブリーダーに確認してもらってください。

4. 「クラブのサポートと強化」分野として、「ロータリー地域社会共同隊」結成を

RI会長賞の達成項目進捗状況について、My ROTARYで2800地区の全クラブのレポートを確認したところ、やはり会員増強を含む「クラブのサポートと強化」分野の4項目達成に苦慮しているクラブが少なくないようです。女性または40歳未満の会員純増があれば4項目達成は容易ですが、「ロータリー地域社会共同隊（RCC：Rotary Community Corps）」を結成することでも4項目達成が可能となります。

具体的には、既存・新設を問わず地元の奉仕グループ（学校での絵本読み語り、学習支援、子供見守り、子供支援食堂、観光案内、地域伝統芸能保存、地域伝統食保存など）の提唱クラブ（複数のクラブでも可）となって、プロジェクトを支援します。支援の内容に条件はありません。

RCCの結成には、結成書（My ROTARYからダウンロード可能、ネット検索からでも可能）に必要事項を記載し、そのスキャン画像をRIの指定アドレス宛てにメール添付で送付して、受理されれば終了です。10人以上のグループでという条件を記した案内もありますが、RCCの標準定款細則には人数の記載はありません。既に地元のボランティア団体に、何らかの支援をしているクラブは多いはずですが、了解をもらった上で、その団体をRCCとして登録することも可能です。ご一考ください。



社会奉仕委員会
委員長

武山 茂 (天童東RC)

地区補助金を利用した各クラブの奉仕事業が、一斉に開始されております。初めに“奉仕(活動)事業”というものを、もう一度確認いたしましょう。個人奉仕は、「個人のボランティア活動や個人寄付」が一般的です。一方、ロータリークラブの集団奉仕事業は、「人」、「物」、「お金」の様々な対応ができることが特徴です。すなわち、「人」は、参加ロータリアン自身の知恵と汗。「物」は、物品の提供。「お金」は、地区補助金やグローバル補助金が使えます。今回は、地区補助金利用の実施報告書が提出された3件について紹介いたします。

①立川RC「立川小学校統合10周年への寄贈」

立川小学校の統合10周年記念式典では、錦戸部屋の力士5名を招いて校内相撲大会が実施されました。我々が寄贈した“ワンタッチテント”も使用され、児童や保護者、地域住民も多数参加しました。相撲教室と題し、「髪結い」や「行司さばき」、「ぶつかり稽古」などを間近で見ることができました。また、児童と力士との取組みも、地域の皆さんと一緒に応援することができました。最後に、ちゃんこ鍋の配膳を手伝いながら、地域の皆さんと統合10周年を祝いました。



②山形イブニングRC

「高校生へのガリ版文化の伝承と体験学習」

かつて主要なコミュニケーション手段であったガリ版文化について、高校生に伝承する試みを行いました。ガリ版文化伝承にふさわしい高校として山形工業高校を考え、6月に地区補助金の採択正式決定後、同校を訪問。情報工学科の鈴木わか奈教諭に説明し、体験学習を希望する生徒を募集しました。その結果、男子生



徒3名が希望し、7月5日午後に教諭1名、生徒3名の計4名が体験学習を行いました。



③上山RC

「社会奉仕プロジェクト第15回「ふれあいINかみのやま」」

上山市の中高生に呼びかけ、身体および知的障がいの方々と一緒に、「かみのやま全国かかし祭り」の会場となる市民憩いの広場「月岡公園」、隣接の「上山城」、「武家屋敷」周辺で清掃活動を行いました。その後、働く婦人の家で「上山昔ばなし切り絵の会」の影絵上映会を行い、引き続き、参加者全員による「ふれあい昼食会」(芋煮会)で親睦を深めました。最後に市内企業の協賛による「お菓子」を配り、閉会としました。この事業によって、中高生ボランティア28名が障がい者との「ふれあい」を体験し、障がい者施設の皆さん73名が社会参加の機会を得ることができました。



集団奉仕事業の基本は、「何のために、そして誰のために行う奉仕か？」の回答について、ぶれずに貫き通す姿勢が大切です。例えば、RI会長推奨の「一人一本の植樹をしよう」にしても、行政に相談すると、必ず「その後の管理はできるのですか？」と言われます。「やりますよ」と答えると、「今は植える所が無い」と言われます。最初の言葉は何だったのだらうと思います。私たちは、植林が風水害や土砂崩れなどの災害防止に、また砂漠化防止などに絶対必要であることを、そして地域住民をはじめ人類にとって大切な事業であることを忘れてはいけません。

次年度は、さらに多くのクラブが地区補助金を活用した事業を取り入れてくださるようお願いするとともに、クラブ単独の社会奉仕事業の参考にしてもらえれば幸いです。



補助金・奉仕プロジェクト小委員会
委員長

小松 栄一 (寒河江RC)

地区補助金について

地区補助金は、年に一度一括で支給され、地元または海外における比較的規模の小さい短期の活動に活用します。活用上の制約が少なく、地区は補助金を配分するプロジェクトを独自に決定できます。また、クラブや地区のプロジェクトにも活用できて、次のようなものが含まれます。

- ①奉仕プロジェクト：地元や海外のプロジェクト、活動現地への渡航費、災害救援などに使用します。
- ②奨学金：各地区が独自の資格基準を設けます。レベル（高校、大学、大学院）、支給期間、専攻分野、授与額、就学地（国内または海外）に関する制約はありません。
- ③職業研修：地元での職業研修ニーズに取り組むほか、海外で指導を行ったり、研修を受けたりする職業研修チーム（VTT）のために利用できます。地区は、補助金小委員会と協力して、参加者の資格要件を決めます。

地区補助金を利用する活動の条件は、「①ロータリアンが積極的に参加すること、②資金管理の指針を順守すること、③文化的な配慮をすること、④ロータリー財団の使命に沿った活動であること、⑤ロータリー財団の取り決めに従うこと」の4つです。

クラブによる手続き

クラブが補助金を利用するには、毎年、参加資格の認定を受ける必要があります。認定を受けるには、地区の実施する「補助金管理セミナー」にクラブから代表者を派遣し、「クラブの覚書」に署名してこれを順守することに加え、地区によって定められたその他の要件（地区審査基準）を満たす必要があります。

地区補助金の地区審査基準

- ①「授与と受諾の条件」を満たすプロジェクトであること。
- ②補助金は、1プロジェクト5万円以上30万円以下とする。
- ③総プロジェクト費用に対する申請クラブの拠出金は、3分の1以上であること。
- ④プロジェクト承認の優先順位は、「新規プロジェクト」、「継続事業であっても新たな提案が含まれているもの」、「継続的プロジェクト」の順とする。
- ⑤ロータリーの他のプログラム（青少年交換、RYLA、ローターアクト、インターアクト、米山奨学会）への支援でも申請できます。この場合、PETSにおいて事業計画を提示し承認を得ること。地区事業への補助金支出はクラブへの支出の妨げにならないよう、最

後に検討されるべきであること。補助金を執行する実行委員会は、詳細な事業計画書を地区へ提出し、地区と覚書を取り交わすこと。また、事業終了後は、速やかに事業報告書を地区へ提出することなどが求められます。なお、同一プログラムへ連続して支出することは避けることとします。

- ⑥人が居住や仕事をするための建造物、すなわち建物（学校、住宅・低廉仮設宿泊所、病院）、コンテナ、移動住宅など、もしくは製造や加工の活動を営むための建造物の新たな建設、または増築の申請もできます。
- ⑦年次寄付（基金）が「ゼロ」のクラブについては、審査対象外とします。
- ⑧実施中及び実施後のプロジェクトの申請は受け付けません。
- ⑨申請書提出期限を超過した申請は受け付けません。
- ⑩最終報告書の提出が遅延、もしくは未提出のクラブは、翌年度の申請資格を失います。

報告要件と書類の保管

補助金の受領者は、補助金の使途について財団に報告する責任があります。中間報告書と最終報告書をオンラインで提出しなければならず、受理されるには所要事項を不備なく記入しなければなりません。2800地区では、補助金を受けたクラブに地区補助金の報告書を3月までに提出してもらいます。事業が継続中の場合は、経過報告書を提出いただき、事業終了後に報告書の提出をお願いします。

期日を過ぎても財団補助金報告書が未提出の提唱者からは、新規の補助金申請書が提出された場合、財団はそれを受理しません。また、財団はいつでも補助金を審査し、監査を実施し、監視要員を派遣し、追加書類の提出を要求し、支払いを（一部または全額）保留する権利を有しています。

未使用の資金は、速やかにロータリー財団に返還しなければなりません。地区は、資格条件に従い、補助金資金の使途について地区内クラブに報告します。補助金の提唱者は、資格条件および適用される自国の法または国際法に従い、補助金の支出に関連する全領収書のコピーと銀行明細書を5年間保管しなければなりません。プロジェクトの実施と資金使用に関する財団の方針と指針を順守しなかった補助金提唱者は、補助金の全額を返還しなければならず、最高5年間、将来の補助金の受領を禁じられる可能性があります。

支払い

地区補助金の資金は、補助金支払い時のRI為替レートに従って支給されます。前ロータリー年度の地区補助金が終了するまでは支給されません。また、実施年度末を過ぎた後は支給されません。実施年度の5月15日までに提唱者が支払いの全要件を満たさなかった場合、補助金は取り消し（全額返還）となります。

初めての地区補助金事業

菅原 勝安 (酒田スワンRC)

酒田市八幡地区では、昔からの『伝統ある獅子舞』が正月に家々を廻り、また5月1日のお祭りでも御輿・奴ふりとともに主役を務めています。しかし、最近は担い手不足で、伝統芸能の維持も難しくなってきました。そうした中、「次代を担う小学生へお祭りや獅子舞の面白さに触れてもらい、伝統芸能存続の後継者づくりをしよう」との意見が、地域の中から持ち上がりました。希望者を募ったところ約10名が集まり、昨年からは練習を始めたそうです。ところが、練習に必要な用具が揃わず、困っているという内情を知り、何か援助する方法がないかをクラブで考えました。そこで、この活動への協力・協賛に地区補助金を活用しようということになったのです。

最初は申請方法も良く分からず、悪戦苦闘の末、ようやく採択されました。11月3日、笛等の用具贈呈式に当クラブの白戸幹事と二人で出席し、子供たちと保護者、先生方300人以上の前で、無事に贈呈を終えました。



贈呈式の会場では、私にロータリークラブの活動を紹介する機会が与えられ、代表的な二つの事業を紹介しました。一つは、世界からポリオを撲滅するための活動をしていて、もう少しで実現すること。もう一つは、米山梅吉翁の遺志を引き継いでの米山記念奨学会の活動です。当クラブでも、ラオスの留学生をスポンサークラブとしてお世話していることなども話しました。最後に、「ロータリーの地区補助金は、今回のような事業はその趣旨にマッチしており、また相談していただければ幸いです」と締めくくりました。

何せ、付け焼き刃そのものの私の話ですから、小学生や保護者、先生方の前でスピーチが果たしてどのように伝わったかは心配です。それでも、純真な子供たちがしっかり受け止めてくれたものと信じたいと思います。

少子高齢化が進む中、今後も人員不足に悩む地域活動は少なくないと思います。1回限りの支援ではなく、根気強いサポートを継続的に続けなければ、本当の活動として根づかないと思いながら、帰ってきました。皆さんも地区補助金を活用するなどして、地域の活性化に向けて一緒に頑張りましょう。

i

ロータリー情報のコーナー〈6〉

ロータリー情報小委員長 野川 勝弘



米山 梅吉

米山梅吉は日本のロータリーの生みの親であり、戦前のロータリー発展に大きく貢献したロータリアンです。彼の人物像を、数回に分けてご紹介いたします。

慶應4年2月4日(9月8日より明治元年)、東京芝田村町に生まれた。父は大和国高取藩士の和田竹造、母は静岡三嶋大社の神官日比谷右京の娘うた、その三男である。梅吉4歳の時、父が死去。やむなく母の郷里三島の長泉村に移り住んだ。

梅吉は、幼時から神童といわれた英才であった。郷里に「映雪舎」という小学校があり、梅吉は7歳の時に入学。11歳の時、米山家がこの出来の良い少年に目をつけ、養子にと望んだ。米山家は四百年も続いた旧家、名主の家で、当時の当主は十三代の藤三郎、夫人はさく、そして春子という一人娘がいた(後の米山夫人)。映雪舎を終えた梅吉は、明治14年に沼津中学へ入学。毎日2里(8km)の道を歩いて通った。弁論を好み、自分で雑誌などを作って回覧したという。明治16年12月、中学卒業を待たずに単独で上京。15歳の時である。丸3日歩いて箱根を越え、横浜から汽車で上京したという。

東京の江南学校に入学するが、すぐに退学。明治18年頃、東京府吏員採用試験に合格。17才だった彼は、これにより渡米の資金を稼ぐ意図であった。その後、東京英和

学校(青山学院の前身)に入学し、同時に米人ニコール・バックの元で英語を学び、明治20年に銀座の福音会英語学校に入学した。同年、梅吉は正式に米山家に入籍して米山姓を名乗り、その後に渡米。20歳であった。

米山は働きながら学費を稼ぎ、オハイオ州ウェスレヤン大学やニューヨーク州シラキュース大学などで政治、法学を学ぶ。渡米8年後、帰国。アメリカの知識を持ちながら、堂々たる日本の紳士として帰ってきた。ハイカラで身だしなみ良く、礼儀も正しく、養家との疎音も復活した。帰国後、博文館より「提督彼理(ペルリ)」を出版する。

米山は日本鉄道会社に入社し、明治29年に米山春子と結婚。28歳であった。翌年、長女の愛子が生まれた。明治30年、井上馨の紹介で三井銀行に入行。明治37年に横浜支店長、40年には大阪支店長、42年には常務取締役となる。大三井の常務として、その頃の米山は日本経済界の代表者の一人と見做されていた。

この人生黄金時代に、米山は「新隠居論」という文章を書いた。「人は事業に一応成功して目途がついたら、後進に道を譲って報恩、社会奉仕の方法をさがしなさい」という論法である。米山は、人生後半に果敢にこれを実行した。(勲三井報恩会の大仕事、大正9年の日本のロータリークラブ創立、青山学院をめぐる小学校建設、郷里の長泉村への寄附などである。



南陽RCを語る

来訪日：2017年10月19日(木)
副会長：石黒 進

我がクラブは東置賜郡宮内町という地での創立で、昭和38年に宮内RCとして誕生しました。宮内町では最初のロータリークラブです。その後、昭和45年の町村合併で南陽市になりましたが、南陽市においても最初のロータリークラブで、南陽RCとして現在に至っております。

多い時には50名を超える会員が在籍しておりましたが、現在の会員数は14名です。少人数ゆえに、毎年、全会員が何らかの役職を務めなければなりません。それだけに、会員の責任感と絆は強いものがあります。現在、在籍年数10年未満が4名、10年以上20年未満が3名、20年以上30年未満が5名、30年以上が1名です。元気に活動されている81歳の会員もおります。

我がクラブの特長ある活動として、会員の合言葉「会員増強」に向けて立ち上げた事業を紹介します。それは、毎週水曜日の例会とは別に、毎月の第四火曜日に会員以外の方にも自由に参加してもらい、飲食と自由な討論を通して会員相互の信頼醸成と会員増強を目的として始めた、「フリートーク会」という懇親事業です。今年で4年になりますが、今年度2名の新会員を迎え、ようやく所期の目的である会員増強につながりました。南陽RCは、例会場をいっぱいにして例会を行うことを悲願しており、会長をはじめ全会員が日々努力しております。



次に、今年度の特長ある活動を紹介します。実は、宮内町の由緒ある双松公園の惨憺たる現状をみかねた町の有志が「双松公園緑を守る会」を立ち上げ、公園整備を実施しています。我がクラブも公園内にあるバラ園の発足にかかわったという経緯があり、毎年、バラ園の開園時に清掃作業を実施してきました。そこで、今年は地区補助金を活用し、「双松公園緑を守る会」に支援物資を贈るとともに、松の木の冬支度作業（菰巻作業）を行いました。

南陽RCは、「奉仕の理想」にかなう身近な奉仕活動を、今後とも継続していきます。

長井中央RCを語る

来訪日：2017年10月25日(水)
会長：田中 元

我がクラブの自慢は、例会出席率の高さ、会員同士の絆の強さの2つです。特筆すべき事業として、メイク旅行があります。今まで東京西RC、仙台RC、多賀城RC、浅草中央RCなどを訪ねました。例会の進め方やクラブの活性化の方法など、学ぶべきところが沢山ありました。

さて、長井中央RCは今年が創立27年目で、2020年度には創立30周年を迎えます。その周年事業に向けて、会員増強や資料集めもやっていかなければならない時期となっております。過去に学び、未来に向けての新たな事業も模索しなければなりません。慢性化したクラブの運営も、会長、理事会、会員が一致団結して打破しなければならないと思います。

我がクラブの現在の会員数は20名です。ピーク時には、46名の会員が在籍しておりました。若いロータリアンの育成と増強に遅れたことや、企業の減少、経済状態の悪化、高齢化などにより、現在の会員数となりました。幸いにも、2名の会員が年度初めから入会いたしました。これにより、会員の平均年齢も少し下がりましたし、色々な組織で活躍していた新会員の経験を当クラブの活性化に活かしていきたいと思っております。今後ますます会員を増強し、各種事業を円滑にすることを目標に頑張っております。

私としては、ロータリアンの増加により、経済が豊かで力強い地域になっていければと願っています。地方の経済力が脆弱化し、企業数が減れば、日本のロータリアンの数も減少していきます。それだけに、行政と連携しながら、いかに魅力ある地域を形成していくかが、今後の地方都市のロータリークラブの課題だと思い、日々研鑽しているところです。



東根中央RCを語る

来訪日：2017年10月30日(月)
幹事：高橋 和春

さくらんぼの生産量日本一、おいしい四季折々の果物もあり、あつたまりの温泉もある【果樹王国ひがしね】。さくらんぼを食べて、にこっと笑顔になる。【ひがしね】に来るとホッとする。我がまち【ひがしね】は山形県内で唯一、人口が増えています。メンバー全員、そんな【ひがしね】の住人であることを誇りに思っています。

東根中央RCは創立27年を迎えました。会員数は46名(チャーターメンバー9名)で、平均年齢は55歳。諸先輩が築き上げてきた社会奉仕活動の特長は、経験と知識を活かしながら、できることを少しずつ地道に実践してきたことです。個性豊かなメンバーが、時に熱く、時にフレキシブルに、従来の枠に囚われることなく一生懸命に取り組んできたのです。なにより家族を愛し、地域を愛し、仲間との絆を深めながら活動を続けていることが、我がクラブの自慢であり、伝統です。

我がクラブは、季節に応じたビアパーティー、芋煮会、クリスマス家族会、観桜会など、数多くの夜間例会を通じて親睦を深めています。そして、本年度も東日本大震災避難者支援等事業補助金をいただき、宮城県東松島市の海岸に、東根市内の小学6年生410名と共に松苗の植樹を行う継続事業を予定しています。

本年度、鈴木一作ガバナーの地区目標「美しい心、ロータリアンの矜持 ～修養、友情、情熱、奉仕、平和、感動～」を旨とし、我が三宅一人会長のテーマ「温故知新・親睦から絆へ」を掲げながら、RI会長賞の受賞を目指します。



西川月山RCを語る

来訪日：2017年11月1日(水)
会長：佐藤 治彦



我がクラブ初めての夜間ガバナー公式訪問例会で、鈴木一作ガバナーは、今年の地区目標「美しい心、ロータリアンの矜持 ～修養、友情、情熱、奉仕、平和、感動～」に込めた想い、その目指すところについて熱く語ってくださいました。

続けて、「ロータリーの木」の絵を使って、ロータリーの目的、奉仕の理念についても分かりやすく説明してくださいました。特に、鈴木ガバナーが最も傾倒しているガイ・ガンデッカーのロータリー観は、とても興味深い内容でした。会員一同、鈴木ガバナーのロータリーに対する見識の深さ、そして分かりやすい説明、真摯で誠実な態度に心から感動いたしました。

公式訪問後半では、参加者全員で「①クラブをさらに活性化させるために、クラブに要望したいこと、②地区運営について、ガバナーに要望したいこと」をテーマに議論したところ、当クラブの将来の在り方について多くの意見が出されました。今回の話し合いを契機として、会員間の意見交換をさらに継続しながら、今年度中には必ず結論を出し、クラブの改善・見直しを行っていくつもりです。

今回の公式訪問は、鈴木ガバナーのエネルギーとロータリー愛に溢れたものでした。会員の誰しもが意気に感じ、我がクラブとしても、「①RI会長賞を目指すための行動をおこそう、②90分フォーラムの開催でクラブの活性化を図ろう」と強く決意したところです。その証拠に、12月のクラブ忘年会にガバナーをお招きし、前半の1時間でクラブの事業内容とRI会長賞に関する勉強会を企画しました。快諾くださったガバナーに感謝します。

西川月山RCは、意気に感じて行動するクラブです。

酒田湊RCを語る

来訪日：2017年11月27日(月)
幹事：加藤 博

入会3年目で幹事という大役をいただき、孤軍奮闘の毎日ですが、酒田湊RCは不思議な魅力に溢れていると日々感じています。チャーターメンバーの3人が中心となり、中堅会員や新入会員との交流を深めながら、絶妙の呼吸でクラブをまとめているところは本当に感心します。

我がクラブの自慢は、昨年度に創立25周年を迎え、会員数15名(うち女性3名)で和やかなクラブ運営に努めていること、そして月1回の夜例会では毎回違うお店を会場にして親睦を深め、全員がスマイルをしてクラブ運営に役立っていることです。他クラブの方も「気軽にメイクが来れるね」と言ってくれるのは、このように和やかな雰囲気のクラブだからだと思います。

もう一つの自慢として、クラブ創立以来、市内の全小学校に環境図書を毎年寄贈している継続事業があります。ところが、各小学校で図書保管の仕方が色々だったので、この際、ロータリー文庫の本棚も寄贈しようということになりました。地区補助金を活用しながら、平成26年から2年計画で実施しましたが、ロータリーの認知度向上に貢献できたものと自負しています。

さて、公式訪問の懇親会では、鈴木一作ガバナーから「一人当たりの財団年次寄付額が2800地区内で第1位であることを証明するバナー」の贈呈とともに、心のこもった称賛の言葉をいただき、会員一同、感激の拍手が鳴りやみませんでした。最後に、鈴木ガバナーから「このクラブの良さが、本日の懇親会を通してよく分かりました」の嬉しい一言！RI会長賞の受賞を目指して頑張ろうと、あらためて心に誓い合った一夜でした。



山形RCを語る

来訪日：2017年11月29日(水)
会長：五十嵐 慶三

我がクラブの自慢は、ローターアクト、インターアクトの両クラブを世話していることです。2800地区では、当クラブを含め、鶴岡RC、南陽東RCの3クラブだけです。若い彼らとの共同プロジェクトや奉仕活動に参加していると、今後の活動に向けたアイデアや知恵が湧いてきます。

さて、昨年10月15日、「健全な姿で未来へつなぐ、社会貢献活動」をテーマに、東北文教大学ローターアクト、山本学園高等学校インターアクトの皆さんと一緒に、第3263回の例会を「絆の森プロジェクト ～植樹例会～」として開催いたしました。植樹作業に心地よい汗を流した後は、美味しい芋煮鍋を囲みました。

その後、バスで移動。昭和45年に当クラブ創立20周年記念事業として建立した、郷土館庭園のアルブレヒト・フォン・ローレツ博士の胸像を見学。初代県令三島通庸が、近代医療推進の県立病院として山形の宮大工300人を動員して7か月で完成させ、それを「済生館」と命名。山形の多くの医師を育てたことに、皆で思いを馳せました。

次に、昭和50年に創立25周年記念事業として建立した、霞城公園内の斯波兼頼公の胸像を見学。ちなみに、兼頼は武家の名門、奥州管領斯波家兼の次男で、延元元年出羽國に入部し、翌年に山形城を築いた、羽州探題最上氏の祖であります。

そして再びバスで移動。昭和55年に創立30周年記念事業として建立した、市立図書館庭園の会田算左衛門の胸像を見学。彼は、16歳から算術を学び、23歳で旗本の養子として江戸に出た後、和算の研究を始めます。優れた弟子を多く育て、東北地方の和算の発展に大きく貢献されたのです。

今回、クラブ例会として参加協力した「絆の森プロジェクト」は、県内38の企業や団体と協定が結ばれ、33箇所まで森づくり活動が行われているものです。当クラブ会員企業でもある山形銀行、ウノハウス、シェルター、山形県トラック協会さんなどは、既に何年も活動を続けているそうです。

最後に――。山形県の母なる川「最上川」は、米沢の吾妻山に源を発し、酒田で日本海に注ぎます。国内でただ一つ、他県に流域を持たない、一つの県にだけ流れる川です。そして県内の森林は、湧き水や伏流水、最上川の清らかな水を育てています。豊かな森林の保全が、全世界へと広がっていくことを祈ってやみません。





争いと共存の 視点からみる日本

イ ジェムン
李 哉炆

(世話クラブ:山形南、サブ世話クラブ:天童東)

私は、韓国人留学生として山形に来て3年目です。その間、日本と日本人に対して色々なことを考えながら勉強を続けています。日本へ来る前、韓国で学芸員としてインターンをしていた時、博物館や美術館には様々な分野の仕事があることを知りました。中でも、大切な文化財の保存・保護に貢献したいという気持ちから、文化財保存修復を勉強したいと思いました。特に、文化財に対する日本の職人の精神に感動し、絶対に日本で勉強をしたいと決心して、日本語を猛勉強の末、山形芸術工科大学に入学しました。

しかし、合格後でも私の日本への留学に対し、韓国の身近な人々から心配と反対をされました。それは、韓国と日本は遠い昔から様々な歴史的な背景を持っているため、今でも韓国の大人は日本に対して良い認識を持っていないからです。実際、私自身も日本のメディアを通して、韓国と日本は歴史問題、慰安婦問題など、それほど良い関係ではないと感じています。

私は、歴史で一番重要なことは、自分の認識だけが歴史の全てではないと思うことだと考えています。相互関係である歴史をお互いに尊重し、より客観的に見る目線を持つことが大事だと思います。そのような気持ちで、私は日本で文化財保存修復の勉強をしています。文化財は各国にあります。特定の国や人のものではないと思います。むしろ全世界共有の文化財として、後世に伝えていかなければならない貴重な歴史的財産です。だから、日本人・韓国人といった国や人の区別なく、同じ人間として争いや戦争をすることなく、共存と協力を通じて守るべきものだと思います。

最近、日本は国家安保法を修正するなど、韓国でも注視されています。もちろん、日本人の間でも安保法に対して良くないという認識を持ち、心配している人もいます。しかし、学校で友達に聞いてみたところ、何も考えずに過ごしている人が多いことに気づき、驚きました。

実は、昨年9月の学校祭で、さらに驚いた出来事がありまし

た。サバイバルゲームというサークルの学生が、軍人の服装をし、銃を持ってゲームをしていたのです。皆さんも、単なるゲームではないかと考えるかもしれません。実際にそのサークルの学生へ、国家安保法が修正された時に、なぜこのようなゲームを子供から様々な年齢層の人が来る学校祭でやったのかと尋ねました。彼らの答えは、その銃とゲームは単にかっこいいものとして認識し、行っているとのことでした。しかし、それは軍隊経験のある私にとって、非常にショックな話でした。日本の安保法が改正されることで国の内外が大きく揺れている中、このような考えを持っている友達が意外に多いというのが事実でした。また、日本にいる間、戦争についての漫画やゲームがたくさんあるのを見ても、日本の若者にとって戦争は身近なものではないということも感じました。それと同様に、安保法も身近なものではないと考えているのかもしれません。私は、世界の出来事について、様々な視点を持ちながら考えていくことも、学校の勉強と同様に大切なのではないかと思います。

私は、韓国で2012年からの2年間、海兵隊で兵役につきました。当時、高校を卒業したばかりの自分にとって、軍隊は何も分からない世界でした。国のために戦うのが正義であり、銃を持って敵を殺すのが正義であると教えられ、毎日厳しい訓練を受けました。北朝鮮がミサイルを撃つという情報があれば、いつでもすぐ戦えるように準備を整え、銃を持って寝ました。

私は、以上のような経験を通じて、日本で自分がする仕事の世界平和に寄与できるように努力したいと強く思うようになりました。最近、中東で様々な紛争が起こり、文化財を破壊するなど、文化財を単なる「物」として認識し、破壊する行為が見られます。文化財は、世界平和の象徴的なシンボルと言っても過言ではないと思います。私が日本へ来たのは、単に保存科学の技術を学ぶためではありません。日本の優れた保存処理技術だけではなく、日本の職人の技や文化財に対する考え方や態度、環境などを学ぶために来ました。そして将来は、文化財についての様々な問題を解決するとともに、その知識や経験を社会に、国家に、そして世界に還元できるような人材になりたいです。また、自分が学んでいる文化財の保存修復が、世界の平和を守る上でどのように寄与できるかを考えながら、世界平和に貢献していきたいと思っています。

ガバナーの想い

ロータリーでは、政治と宗教を持ち込まないことがルールです。言うまでもなく、友情を損なう危険があるからです。しかし、世界平和を目指すには、政治や宗教を無視することはできないことも確かです。むしろ李(イ)君の言葉通り、「お互いに尊重し、より客観的に見る目線」に立って、「相互理解という共存共栄(巻頭ガバナーメッセージ参照)」を進めていくことが大切だと思います。日韓における歴史認識、国家安全保障基本法案などについては、色々な見解があるこ

とは承知しています。しかし、李(イ)君の真意は、文化財保護を通じて世界平和を希求したいという「純粋な想い」にあることはお分かりでしょう。私は真摯で誠実、勇気と志に満ちた李(イ)君の文章を読んで、目がしらが熱くなりました。私はそんな彼を応援したいし、米山梅吉翁の願いにも通じる李(イ)君の「純粋な想い」を皆様に伝えることも、「平和と紛争予防/紛争解決月間」にふさわしい月信を発行するガバナーの務めだと判断した次第です。

米山奨学生レター

vol. 8

東北公益文科大学
修士課程2年
オウ ファン
王文 (中国)



私は、「春日部イブニング：鶴岡南ロータリークラブ交流会」に参加しました。四季の恵みを感じさせる地元庄内の旬の美味しい食べ物を食べながら、日本海に沈む夕日を見ました。その美しさに、春日部RCの方々は「素晴らしい！綺麗！」と絶賛していました。

翌日、私は鶴岡南RCの一員として、春日部RCの方に庄内地方の観光案内をしました。庄内観光物産館では、「豊かな食べ物が溢れていて、羨ましい」「日本海は景色が素晴らしいだけでなく、海産物も美味しい」などと話しながら、お土産をたくさん購入していました。藤沢周平記念館では、彼の作品を真剣に読み、庄内の歴史と文化への理解を更に深め、藤沢周平への尊敬の念を高めていました。この交流会を通して、私も「山形県の庄内地域に留学することができてよかった」という、誇りと感謝の気持ちが深まりました。



この文章を書きながら、私は平和と友愛について考えました。平和を守るためには、数多くの学生や民間団体が友愛と親睦を深めることが大切です。私も美しい心を持ち、人々の幸せと平和の基礎となるロータリー活動に積極的に参加し、自分なりのやり方で良い変化をもたらせるように、一生懸命頑張ります。

米山奨学生レター

vol. 9

山形大学
修士課程2年
リ ソウ
李聡 (中国)



世界123の国、日本の約2,300のロータリークラブにいる2万人近くのロータリアンから支援されている、ロータリー米山記念奨学生の李聡です。

2016年12月に、初めてロータリー米山記念奨学会に接しました。将来、母国と日本との架け橋となり、グローバルで活躍する優秀な留学生を支援することが目的と聞きました。その優秀とは、学業が優秀なことはもちろん、異文化に対する理解、コミュニケーション能力の高さなども含まれます。私もこの理念を念頭に置いて、奨学生に応募しました。

2017年4月に正式な奨学生となり、ロータリークラブに入会してから、自分の視野も広がりました。米山奨学会を通して多くの友達ができ、世界各地から日本に来た人達とも異文化交流と相互理解が深まりました。また、ロータリー独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援もいただきました。ロータリアンの皆様は、責任ある立場の人ばかりで「忙しい、忙しい」と言いながら、一生懸命、ロータリー活動に貢献していらっしゃいます。そういう中で、勉強に情熱を高めるだけでなく、将来の自分はどんな人になりたいのかも明らかになりました。常に他人を支援しようという意識を持ち、貢献精神を身につけた人になりたいです。

平和の推進、教育の支援、地域経済の発展など、ロータリーは、私を本当に感動させてくれました。奉仕と平和の大切さを教えてくれたロータリーは、これからの私にとって大事な財産です。



米山学友 ジャンチブさん 旭日小綬章受章

平成29年秋の叙勲受章者が発表され、外国人叙勲として、なんと2人の米山学友が旭日小綬章に輝き、12月にそれぞれ日本の在外公館において勲章・勲記の伝達式が行われました。そのうちの一人が、ジャンチブ・ガルバドラッハさん (モンゴル/1998-99/山形北RC) です。

受章理由：新モンゴル学園理事長。モンゴルにおける日本式教育普及および日本・モンゴル間の相互理解促進に寄与。

“私は、皆様方への感謝を胸に恩返しをしたい一心で努めてきただけですので、この受章は皆様方のものであります。この勲章を受章したことで新たな活力がわいてきました。これからは皆様へのご恩を倍々返してできるように力の限り努力していきます。どうか温かく見守ってください。” (本人談)



青少年交換学生 月次報告



佐藤 ひかり さん

- 派遣国：ハンガリー
- ホストRC：Győrújbarát
- スポンサーRC：酒田中央

Boldog karácsonyt mindenkinek! クリスマスも終わり、あとは大晦日を迎えるだけです。クリスマスと言えば、欠かせないのがクリスマスツリー。日本の家庭ではプラスチック製のものが一般的ですが、国を越えたら生木を使うのが当たり前。私も、天井まで届くくらい立派なツリーに飾り付けをしました。おなじみの球のオブジェにライト、手作りのジンジャーブレッドクッキーも飾りました。本物の針葉樹を使っているため、飾り付ける際にはチクチクと葉が刺さって痛かったです。そしてその日の夜は、家族でクリスマスディナーを楽しみました。いつもより少し豪華なディナーでは、新しい発見がありました。実は食材の中に、家族が「イクラ」と呼ぶものが出てきたのです。聞いた時は本当に日本語の「イクラ」に聞こえる発音だったので、それは何を指すものなのかと尋ねたところ、「魚の卵だよ。スープに入れて食べてね」とのこと。またしても驚きました。日本語と発音が同じ「イクラ」は、私たちが一番に思い浮かべるあの「イクラ」と同じ、魚の卵でした！ 実際に食べてみると、それは日本人にとっての「イクラ」ではなく、「数の子」でした。こちらでは、数の子をイクラと呼ぶんですね。日本のイクラが食べたくなくなった瞬間でした。

翌朝、ツリーの下には沢山のプレゼントが置かれていました。日本では子供が寝ている枕元に置くものですが、この国ではツリーの下に、それも家族全員から用意されていました。ホストの両親からは、刺繍キット、ハンガリー人が日本語を勉強するための絵本、ハンガリー刺繍の入ったTシャツ。姉からはLUSHの入浴剤を、母方の祖母からはハンガリーの名所が納められた写真集（ハンガリー語、英語、ドイツ語の3か国語で書かれたもの）をもらいました。実は、渡航前からやりたいと思っていた刺繍ですが、まだ挑戦できずにいました。マザーが、刺繍のやり方を示す日本語の動画も探してくれていました。早速、挑戦してみます。

このÓdor一家と過ごすのも今日が最後となりました。4ヵ月間にわたってお世話になったことに感謝しつつ、お別れしたいと思います。



「青少年交換学生を預かって」

青少年委員会 平吹 和之 (山形西RC)

2017年8月20日にブラジルのクリチバ(180万人第2の都市)から36時間かけて山形に来県したネルソンJ・C ヘルナンデス君は、我が家で生活してから早5ヵ月です。山形空港で初めて会った時は不安そうな顔でしたが、現在のネルソンは本来の16才の少年の笑顔が常に感じられます。

母国語はポルトガル語ですが、英語も堪能です。日本語も頑張っていて勉強しています。朝は自分で起き、学校は休まず登校。広島・奈良・京都の修学旅行にも参加し、ロータリーの各行事にも出席しています。また、和太鼓の練習に週1回通い、2月の発表会に参加する予定です。

12月31日は年越しの除夜の鐘を突き、初詣も体験し、日本の正月を満喫しました。もちろん、「お年玉」もです。1月21~22日に岩手の安比高原でウインターキャンプがあるので、青少年委員長の佐藤さんから蔵王でスキーの手ほどきをしていただき、スキーもなんとかできるようになったかな。さらに、ネルソンが非常に興味をもっている剣道の初稽古にも参加できることになり、とても楽しみにしているようです。

私たち夫婦は、ホストファミリーとして国境を越えた国際交流の友情と信頼を築く実践に参加させていただき、大変感謝しております。ありがとうございました。



鶴岡RC会長 木村 節

この度、12月31日から1月3日までの4日間、ジャスティンと鶴岡での年末年始を過ごしました。私も妻も英語を話すことができず、携帯電話のアプリVoiceTraでどうにか会話をしました。あまり特別なことは行わず、鶴岡での一般的な家庭の生活を味わってもらえたらと思いました。

元旦は荘内神社に初詣でに行き、日本のお正月の儀式を体験してもらいました。今後一年間の家内安全と健康をお祈りしてくださいと説明したところ、ジャスティンは人一倍長いお祈りをしていました。

食事は、彼がお餅は食べないということもあり、モスバーガーの照り焼きバーガーになりました。とにかくお肉しか食べず、あとはコーラがあればそれで大満足の若者です。正月3日は天気も決して良くなって、屋外でのスポーツはできず、バスケット好きの彼にはちょっと不満だったかもしれません。

来日して4ヵ月が経過し、我が家が4番目の受け入れ先です。日本語も少しずつ理解してきたようですが、自分の意思を明確に日本語で伝えることができず、ストレスを感じる毎日だと思います。しかし、もう少し積極的なホストファミリーとの打ち解け方を身につけて、クールジャパンを思い出として創って欲しいと思っています。



ローターアクトのコーナー

東北文教大学ローターアクトクラブ

(提唱クラブ：山形)

クラブターゲット：**縁JOY!!!**

地域の人々、他地区のローターアクトの人々、様々な人達と出会う機会があるなかで、文教大ローターアクトクラブは、そういう沢山の出会いの縁を大切にしていきたいと考えています。また、JOYには満足というような意味もあり、学生生活をより満足できるようにと考え、人との縁を大切に、満足できるように、限りある学生生活をより楽しめるように、クラブターゲットを「縁JOY」としました。

●活動報告

- 11月 やまぶきロードプロジェクト植樹実施
(山形北ロータークラブより依頼)
- 12月 山形ロータークラブ例会参加
(クリスマス家族会)
- 2月 ウィンター交流会参加

●メッセージ

今年は短大生が卒業し、部員3人という状況からのスタートでした。それに加え、3人とも学年が上がり、それぞれの進路に向けて就職活動や長期間の実習があるなど、第2木曜日の例会を開催しても部員が集まらず、活動についての話し合いができませんでした。現在、新入生の部員募集をしています。また、活動の幅を広げるために、他のサークル(ボランティア部等)や学校との協力体制を整えています。

ローターアクトの活動を通して**縁JOY**できる場ができるように努めていきたいと思っています。大学生にできること、大学生だからこそできることを考え、若さとフレッシュさで活動ができるように頑張ります!!!

インターアクトのコーナー

南陽高校インターアクトクラブ

(スポンサークラブ：南陽、南陽東)

山形県立南陽高等学校3年 嵐田 あみ

私たち南陽高校インターアクトクラブは、今年度は1年生15名、2年生2名、3年生6名の計23名で活動しています。

4月にはJR赤湯駅からハイキング観光案内、吉野の大森林祭、飯豊少年自然の家のオープンデーなどのお手伝いに参加しました。8月には24時間テレビの街頭募金活動、JC主催のあかり絵ボランティアに参加しました。また、日本一歴史のある南陽菊祭りやフラワー長井線スマイルプロジェクト、南陽さわやかワインマラソン大会などにも参加予定です。

学校での活動としては、ポリオワクチンの資金集めの一環としてペットボトルのキャップ回収や、校内美化活動などを行っています。

ここまで紹介させていただいたのは、私たちの活動のごく一部です。これからも、多くの地元ボランティア活動に積極的に参加して地域の発展に役立ちたい、困っている人を助けたい、自分たちのできることをしっかりやっていきたいと思えます。

ロータークラブの皆様には、私たちの活動をご支援いただき、大変感謝しています。今後とも、よろしく願い申し上げます。



2018年国際ロータリー年次大会のお知らせ

開催期間：2018年6月23日(土)～27日(水)

開催地：カナダ(オンタリオ州 トロント)

現在、2800地区ではガバナー夫妻を含めて10名の方が参加登録されています。参加希望の方は、「ロータリーの友」1月号38、39ページの観光案内および43、44ページの旅行ツアー案内(日洋航空/東日観光)をご覧ください。



食べ物や名産品のお店が立ち並び「セントローレンスマーケット」

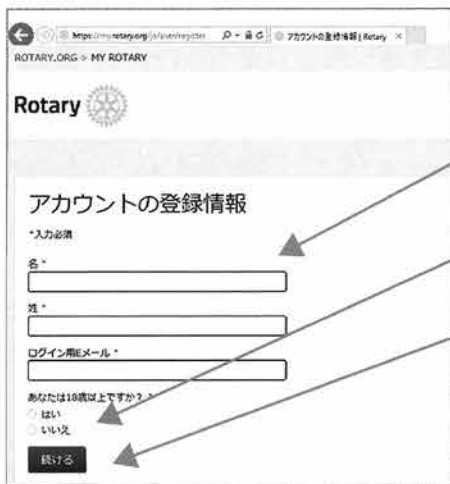


My ROTARYアカウント登録方法

1 <https://my.rotary.org/ja> にアクセス



2 アカウント登録をクリック



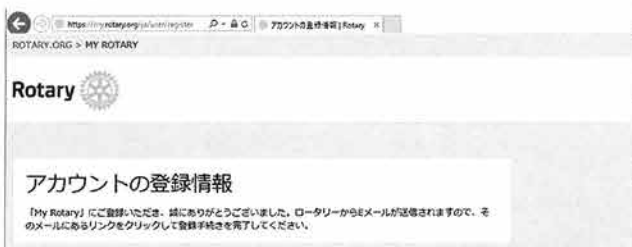
3 氏名、メールアドレスは半角英数字で会員登録してある通りに（クラブ事務局員に確認）正しく入力してください。
「はい」にチェックを入れ、
「続ける」のボタンをクリックします。

※PCメールの届かない携帯アドレス等のご利用頂けません

「続ける」の後左記のように住所欄が表示された場合は、速やかに入力中止してクラブ役員/事務局員までご連絡ください。

このまま進めると、非会員として登録が完了してしまい、アカウントの意味を成しません。

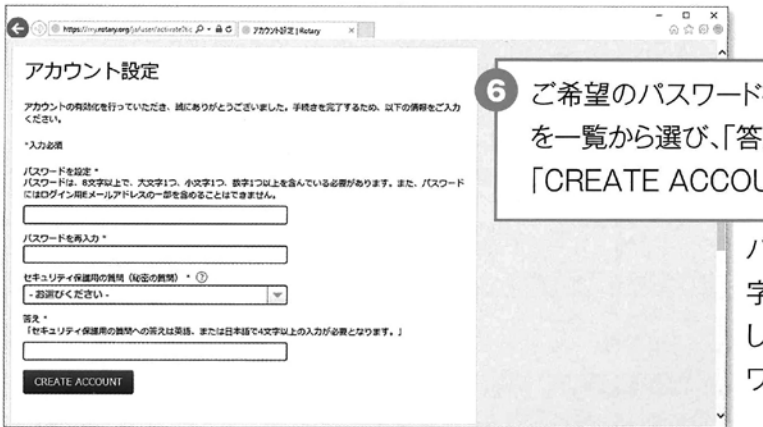
※この現象はクラブ役員/事務局様が可能な、メールアドレスの事前登録が完了されていない場合に生じます。クラブ役員/事務局様にアドレスの事前登録を依頼し、はじめからやり直してください。
※クラブ役員/事務局様は本紙12ページ以降の手順で、アドレスをご登録ください



4 右記の画面が表示されたら「国際ロータリー」から登録したメールアドレスにメールが届きます。

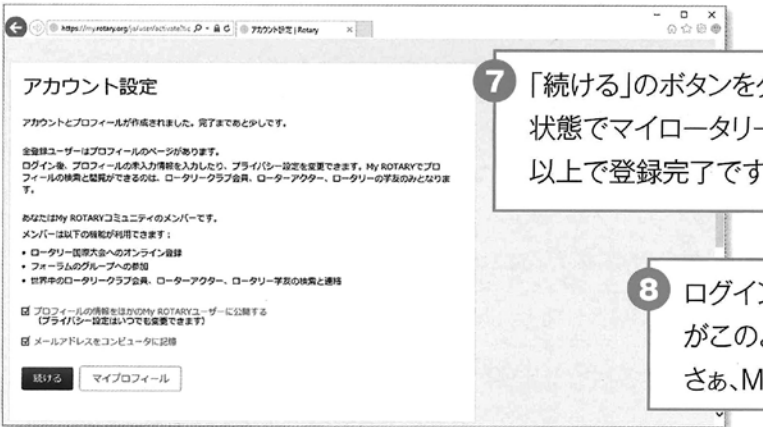


5 登録したメールアドレスの受信箱を開き、届いたメールをクリックすると「ロータリーウェブサイト：登録完了まであと少しです」というメールが届くので、文中の「アカウントを有効にする」をクリックします。



6 ご希望のパスワードを設定し、「セキュリティ保護用の質問」を一覧から選び、「答え」(4文字以上)を入力した後、「CREATE ACCOUNT」を一回だけクリックします

パスワードは英数字8文字以上で、大文字、小文字、数字各1つ以上を含んで設定して下さい。メールアドレスと類似したパスワードは設定できません。



7 「続ける」のボタンをクリックすると登録完了となり、ログイン状態でマイロータリーのトップページが表示されます。以上で登録完了です。

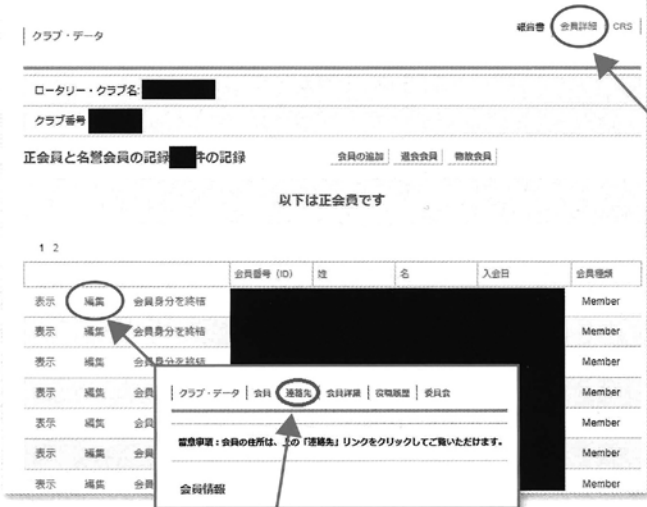
8 ログインが完了するとご自身のメールアドレスがこのように表示されます。さあ、My ROTARYを使ってみましょう!



例えば「会員コーナー」からこのようなことが可能です！
 ・『公式名簿』から各クラブの例会情報・連絡先などを確認
 ・『ロータリークラブ・セントラル』から自クラブや世界の最近の動向を確認
 ・『会員増強』からロータリーの豊富な資料をダウンロード
 その他様々な機能や資料がございます。是非ご活用ください。



【役員・事務局員様】メールアドレスの追加方法



クラブ役員様・事務局様へ
会員様にMy ROTARYの登録をスムーズに行って頂くために、事前に必要な手続きです。お手数ではございますが、ご協力頂けますよう、何卒よろしくお願い致します。
国際ロータリー日本事務局

各会員の連絡先一覧を出力したい場合は、こちらの『会員詳細』のレポートから一覧表を出力してご確認ください。
表右の方に「Business email」「Personal email」の項目があり、いずれかのアドレスでMy ROTARY登録を行って頂けます。

各会員のお名前横の『編集』をクリックし、次の画面の『連絡先』をクリックするとメールアドレスの登録を行って頂けます(複数登録可)。

※万が一、『このメールアドレスは既に登録されています』とエラーが出たら、当該会員氏名/ID/そのメールアドレスを記載し、rijapan@rotary.org へご連絡ください

【役員・事務局員様】My ROTARYアカウント登録状況の確認方法

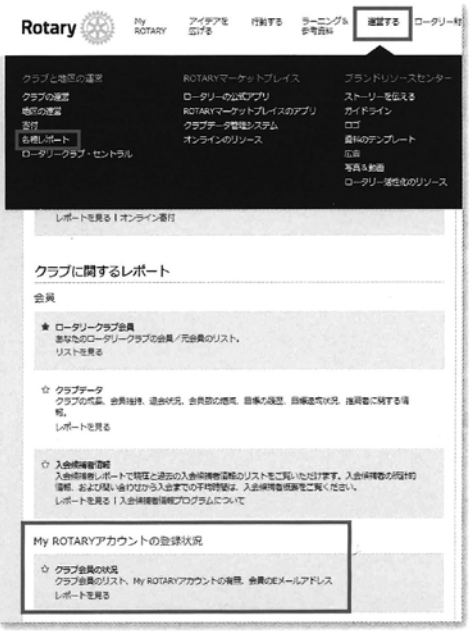
今年度の役員・事務局様は、ご自身のクラブのMy ROTARY登録状況をご確認頂けます。

『運営する』→『各種レポート』→『My ROTARYアカウントの登録状況』

会員様名横のOnline Account with My RotaryがYならばアカウントあり、Nであればなしです

情報反映までに48時間程かかります

アカウント作成後48時間以上経ってもYにならない場合は、会員様の氏名/会員ID/メールアドレス、パスワードを覚えていらっしゃるかどうかを明記の上、rijapan@rotary.org までご連絡ください。



【役員・事務局員様】役員報告

今年度の役員・事務局様は、ご自身のクラブの今年度・次年度のクラブ役員を報告できます。

『運営する』→『クラブの運営』→『クラブ役員追加/編集/削除』

今年度役員様がMy ROTARYアカウントを会員としてご取得頂いたにも関わらず、入退会のご報告などが頂けない場合、今年度の役員として報告がされていない可能性があります。

上記の方法で状況をご確認いただけます。報告の詳細方法は別紙『クラブ役員情報・次年度役員オンライン報告』をご参照ください。



R I 会長賞の進捗状況

	クラブ名	必須1	必須2	分野1	分野2	分野3
第1ブロック	酒田			2▲	1	2
	酒田東			1★▲	3	
	酒田中央			④	2	3
	酒田スワン		終了	3	④	
	酒田湊			1▲	1	
第2ブロック	鶴岡			2★▲	1	
	鶴岡西			1★▲	1	
	余目		終了	④		⑥
	立川	終了		1▲	1	
	鶴岡東			2▲	2	2
	鶴岡南			④	④	⑤
第3ブロック(A)	天童	終了		④		2
	東根		終了	3	1	3
	天童東			1★▲	2	
	天童西			1★▲	1	
	東根中央			2		1
	村山			★▲	1	
第3ブロック(B)	新庄		終了	④	2	⑤
	尾花沢			★▲	2	
	最上	終了		④	2	
	尾花沢中央		終了	④	2	⑥
	村山ローズ	終了	終了	3▲	1	
	新庄あじさい			★▲	1	
第4ブロック	寒河江	終了	終了	3	④	⑦
	大江	終了		3		2
	河北	終了		3	④	⑥
	寒河江さくらんぼ	終了	終了	3	2	3
	西川月山	終了	終了	3	1	2

	クラブ名	必須1	必須2	分野1	分野2	分野3
第5ブロック(A)	山形			④	1	2
	山形北	終了	終了	⑤	④	④
	山辺			★▲	2	
	山形南			2	3	3
	中山		終了	3	3	④
第5ブロック(B)	山形西			★▲	1	
	上山			1★▲	1	1
	山形東			2		2
	山形中央	終了		1▲	1	
	山形イブニング	終了		2▲	2	2
第6ブロック(A)	米沢	終了	終了	⑤	3	2
	米沢上杉	終了	終了	⑤	3	⑤
	高畠	終了	終了	3	2	⑥
	米沢中央	終了		⑤	④	2
	米沢おしょうしな	終了		3	2	2
第6ブロック(B)	長井			1▲	3	1
	南陽			2★▲	1	
	白鷹			★▲	1	
	小国			1★▲	1	
	南陽東			⑤	④	2
	長井中央			3▲	2	3
	南陽臨雲			2		⑤

(2018.1.28調査)

* 必須1：7月と1月のR I 人頭分担金の完納

* 必須2：奉仕プロジェクトの時間と金額の記載

* 分野1・2・3 → 各分野とも4項目以上の達成が必要

(分野2と3は、達成しているのに登録していない場合が多いようです)

- ・上表で★のついているクラブ：分野1「①少なくとも10の目標設定が未登録」のクラブ
→ 月信11月号3ページ「ガバナーの想い」を参照の上、登録してください
- ・上表で▲のついているクラブ：分野1「②クラブ戦略計画の立案・更新にマーク未記入」のクラブ
→ 早急に「はい」のマークをしてください
- ・分野1の会員増強が難しいクラブは、⑦ロータリー地域社会共同隊を検討しましょう → 本誌3ページ参照
- ・ロータリークラブ・セントラル「目標設定・確認センター」以外に、会員コーナーの「ロータリーショーケース」にも記入が必要な場合があります → 月信7月号6～7ページ、11月号3ページ「ガバナーの想い」参照
- ・ロータリークラブ・セントラル「目標設定・確認センター」の下段にある「奉仕活動」にも、必要事項を記入してください

2017-2018 クラブ会員数／出席率											
ブロック	クラブ名	2017.7.1		2017.12.31			年初からの増減数				累計出席率
		会員数 (女性会員数)		会員数 (女性会員数)		出席率	増 (女性会員数)		減 (女性会員数)		
第1ブロック	酒田	27	(3)	27	(3)	65.43	1	(0)	1	(0)	70.86
	酒田東	35	(5)	36	(5)	91.70	1	(0)	0	(0)	85.78
	酒田中央	37	(0)	37	(0)	88.62	0	(0)	0	(0)	83.29
	酒田スワン	15	(6)	15	(6)	85.71	0	(0)	0	(0)	83.63
	酒田湊	15	(3)	15	(3)	93.33	0	(0)	0	(0)	94.29
第2ブロック	鶴岡	28	(5)	29	(5)	89.47	1	(0)	0	(0)	85.61
	鶴岡西	33	(4)	30	(4)	88.51	1	(0)	4	(0)	79.75
	余目	29	(1)	30	(1)	82.50	2	(0)	1	(0)	76.60
	立川	14	(0)	12	(0)	83.33	0	(0)	2	(0)	89.08
	鶴岡東	28	(1)	28	(1)	87.88	0	(0)	0	(0)	85.41
	鶴岡南	20	(3)	19	(3)	84.21	0	(0)	1	(0)	78.99
第3ブロック	天童	45	(3)	46	(3)	97.52	1	(0)	0	(0)	95.33
	東根	34	(1)	33	(1)	84.56	0	(0)	1	(0)	82.16
	天童東	47	(0)	53	(0)	96.45	6	(0)	0	(0)	85.52
	天童西	18	(2)	19	(2)	92.37	2	(0)	1	(0)	86.85
	東根中央	45	(3)	46	(3)	79.90	1	(0)	0	(0)	80.66
	村山	10	(0)	10	(0)	100.00	0	(0)	0	(0)	99.17
	新庄	14	(2)	15	(2)	86.67	1	(0)	0	(0)	86.76
	尾花沢	19	(0)	19	(0)	84.21	1	(0)	1	(0)	87.50
	最上	22	(1)	24	(2)	49.21	2	(1)	0	(0)	51.36
	尾花沢中央	16	(1)	17	(1)	92.16	1	(0)	0	(0)	87.97
	村山ローズ	18	(5)	19	(5)	90.00	1	(0)	0	(0)	79.33
	新庄あじさい	15	(0)	15	(0)	86.67	0	(0)	0	(0)	88.43
	第4ブロック	寒河江	52	(2)	51	(2)	97.28	2	(0)	3	(0)
大江		16	(1)	17	(1)	88.89	1	(0)	0	(0)	97.85
河北		29	(0)	29	(0)	86.11	0	(0)	0	(0)	83.85
寒河江さくらんぼ		40	(3)	40	(3)	80.47	0	(0)	0	(0)	84.89
西川月山		13	(0)	13	(0)	88.89	0	(0)	0	(0)	79.36
第5ブロック	山形	90	(2)	94	(2)	100.00	5	(0)	1	(0)	100.00
	山形北	58	(0)	63	(2)	94.15	8	(2)	3	(0)	94.70
	山辺	24	(0)	24	(0)	100.00	1	(0)	1	(0)	97.65
	山形南	53	(2)	53	(2)	96.00	1	(0)	1	(0)	95.93
	中山	12	(0)	12	(0)	83.33	0	(0)	0	(0)	77.08
	山形西	101	(0)	100	(0)	97.79	2	(0)	3	(0)	96.09
	上山	15	(3)	16	(3)	81.25	1	(0)	0	(0)	69.27
	山形東	32	(1)	29	(1)	92.52	1	(0)	4	(0)	90.77
	山形中央	40	(3)	40	(3)	96.08	0	(0)	0	(0)	95.42
	山形イブニング	30	(1)	30	(1)	64.82	0	(0)	0	(0)	65.64
第6ブロック	米沢	59	(8)	59	(8)	93.44	2	(0)	2	(0)	89.06
	米沢上杉	66	(3)	69	(4)	99.06	5	(1)	2	(0)	99.06
	高島	49	(3)	46	(3)	75.52	0	(0)	3	(0)	73.01
	米沢中央	38	(4)	39	(5)	98.72	1	(1)	0	(0)	98.47
	米沢おしょうしな	28	(3)	28	(3)	89.29	0	(0)	0	(0)	74.11
	長井	29	(1)	29	(1)	82.96	1	(0)	1	(0)	76.25
	南陽	12	(1)	14	(1)	85.70	2	(0)	0	(0)	84.48
	白鷹	20	(0)	19	(0)	84.21	0	(0)	1	(0)	83.99
	小国	17	(0)	17	(0)	88.57	0	(0)	0	(0)	83.77
	南陽東	33	(2)	35	(2)	73.74	3	(0)	1	(0)	72.50
	長井中央	18	(1)	19	(1)	85.50	2	(0)	1	(0)	79.99
	南陽臨雲	30	(3)	29	(2)	79.66	0	(0)	1	(1)	73.52
	合計	1588	(96)	1608	(100)	87.29	60	(5)	40	(1)	84.68

新入会員紹介



井上 浩志

所属クラブ／河北
職業分類／道路標識
入会日／2018.1.1



小松 久弘

所属クラブ／米沢
職業分類／民間放送
入会日／2018.1.1



船山 百栄

所属クラブ／米沢
職業分類／料理品小売業
入会日／2018.1.1



矢萩 浩次

所属クラブ／村山ローズ
職業分類／建築士
入会日／2018.1.2



高橋 雅明

所属クラブ／高畠
職業分類／小売業
入会日／2018.1.11



伊藤 新一

所属クラブ／米沢上杉
職業分類／土木工事
入会日／2018.1.16

表彰関係

〈米山功労クラブ〉

山形西 RC 第30回米山功労クラブ

酒田中央 RC 第5回米山功労クラブ



第38回米山功労者
メジャードナー

安孫子 貞夫
(寒河江 RC)



PHF

佐藤 敏
(寒河江 RC)



第11回米山功労者
メジャードナー

酒巻 満
(山形北 RC)



第8回米山功労者
マルチプル

柴田 津與志
(山形北 RC)



第8回米山功労者
マルチプル

渡部 吉春
(鶴岡西 RC)



第7回米山功労者
マルチプル

松村 澄男
(天童 RC)



第2回米山功労者
マルチプル
PHF+1

佐藤 清一
(米沢中央 RC)



PHF+2

土門 孝康
(酒田中央 RC)



PHF+1

中川 清美
(山形中央 RC)

「クラブ奉仕・ロータリー情報・職業奉仕」合同セミナーのご案内

講師(予定) : 鈴木一作 ガバナー …………… [ロータリーの目的と職業奉仕について]
三木 明 RI理事エレクト ……… [これからのロータリーについて]
石黒慶一 RI理事 …………… [クラブ運営について]

日時 : 2018年3月17日(土) 12:30~16:30

場所 : 寒河江市ハートフルセンター 2F 多目的ホール

対象者 : 入会5年未満の会員、会長、会長エレクト、幹事、クラブ奉仕・ロータリー情報・職業奉仕の各委員、セミナーに興味のある会員

※詳細は、各クラブ宛てにご連絡申し上げます。(先着 300名)

2月の 地区スケジュール

2/1 木	
2 金	
3 土	
4 日	米山50周年式典 (グランドニッコー東京 台場)
5 月	
6 火	
7 水	
8 木	
9 金	
10 土	
11 日	建国記念の日
12 月	振替休日
13 火	
14 水	
15 木	③インターアクト連絡協議会
16 金	
17 土	米山奨学生歓送会 (山形市) 第5ブロックIM
18 日	第3回 諮問委員会 (酒田市) 第2回 地区チーム研修セミナー (酒田市)
19 月	
20 火	↑ 地区大会 (東京、沖縄:東京新都心RC)
21 水	↓
22 木	
23 金	
24 土	
25 日	
26 月	↑ 地区大会 (東京、グアム、北マリアナ諸島、パ ラオ、ミクロネシア:東京武蔵府中RC)
27 火	↓
28 水	
3/1 木	
2 金	
3 土	↑ 会長エレクト研修セミナー (酒田)
4 日	↓ 補助金管理セミナー (酒田)
5 月	
6 火	
7 水	
8 木	
9 金	
10 土	↑ 地区大会 (兵庫:神戸西RC)
11 日	↓



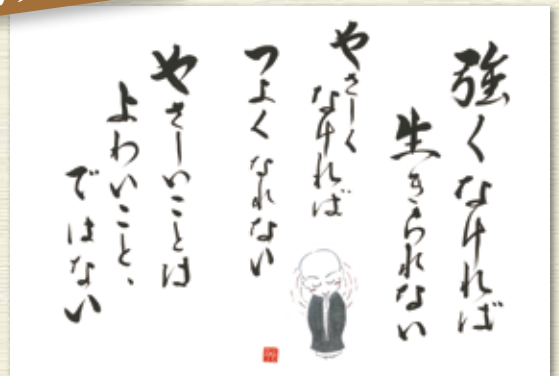
やまがた雪フェスティバル

(寒河江市/最上川ふるさと総合公園)

山形県のほぼ中央に位置し、初夏にはサクラランボの産地として賑わう寒河江市で、2016年から開催されている「やまがた雪フェスティバル」。山形自動車道・寒河江SAスマートICに隣接する最上川ふるさと総合公園で行われます。

シンボル雪像をバックに行われる有名アーティストのライブや、雪を使ったアトラクション、県内各地のラーメンや特産品が集まった雪中屋台、夜の冬花火大会など、寒さを忘れさせてくれる催しが盛りだくさん。昨年は三日間で19万1千人のお客さんが国内外から訪れ、雪国ならではの体験や、会場のそばを流れる最上川や周囲の山々など山形の雪景色の美しさを楽しみました。

今月の言葉



Rotary


◇ガバナー事務所

〒991-0041 寒河江市寒河江鷹ノ巣7番地
TEL: 0237-85-1882 FAX: 0237-85-1883
E-mail: ri2800suzuki@helen.ocn.ne.jp

◇地区事務所

〒994-0034 天童市本町2-1-31 天童セントラルホテル2F
TEL: 023-687-0208 FAX: 023-687-0209
E-mail: ri2800@muse.ocn.ne.jp

◇ホームページ

国際ロータリー山形 検索 
<http://www.ri2800.jp>

